

流れの境

江戸時代の商人は大きくわけて「大坂商人」と

「江商人」  
「洋商商人」といわれていた

大坂商人は今の銀行だ  
参勤交代の殿さまだ

赤倉をかしら  
お中取りはいいが辛い

近江商人は現在の商社だ  
釜のぼり商法だ

昭和のはじめ片方の家た  
まきかきとほ本もおい

「物自由はあつかい下さい」とかいてあるんだ

一本のかさぶさのころだ  
近江商人のやり方

だ

その「洋商商人」は現在の「モノ」に  
おもう

元々「舟物」(若狭)の商売だときく

江戸ゴッポクの三井のあつむい  
付ご存く  
取引

と「江」  
そ「て」  
系系  
と「江」  
一舟  
より  
び  
なる

現在の「人」に  
おもう  
でも  
セ  
ト  
ル  
で  
も  
可  
能  
な

し  
の  
こ  
り  
け  
端  
取  
れ  
と  
し  
て  
正  
多  
り  
と  
し  
た

高松を  
か  
え  
白  
二  
と  
は  
より  
現  
在  
の  
予  
想  
に  
上  
か

今  
は  
ど  
こ  
を  
と  
る  
も  
系  
系  
販  
売  
だ  
ア  
き  
者

分  
か  
け  
る  
事  
は  
何  
ん  
が  
と  
し  
か  
あ  
る

後  
継  
者  
の  
高  
松  
を  
か  
え  
る  
と  
り  
う  
で  
は  
む  
つ  
わ  
し

い、昔はオーストリアのピと言で変態は可能だ  
 居た「著」と「班」だも何とかなる  
 現能は自能の埋蔵の拘題だ、が成功した  
 例がある、丸井だ、現能を引を月翻した  
 口、この何、すうだ、今迄の流山を、変え、石の  
 花、しかし習性を変え、やはい、も大変だ  
 現在、A、Bの原用で、ささる変態しよるとし  
 て、い、A、Bに苦味がある、て、い、竹、ち、か、つ、和  
 角、君、か、ら、の、妻、境、は、等、い、の、不、便、利、に、な、る、こ、と、で  
 ち、い、何、だ

平和がいいと言っている、平和に守らる、  
 仲よく、い、い、と、言、つ、て、仲、も、し、に、守、ら、る、の、  
 え、の、高、法、を、さ、ま、が、子、妻、匠、よ、ろ、に、守、ら、る、を、き、え、を  
 どう、変、え、ち、う、よ、り、の、か  
 三、井、の、身、を、い、た、き、さ、る、に